

相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発防止策検討チーム
(第3回)における主な意見

<論点1：福祉施設における防犯対策について>

- 出来るだけ早く、防犯チェックリストのようなものを作成し、社会福祉施設の防犯意識の向上を図るべきではないか。
- 防犯カメラの設置等に対する支援を求めている施設があることに留意すべきではないか。

<論点2：精神保健福祉法の措置入院に係る手続きについて>

- 入院中や措置症状消退について判断する際に、自傷他害の症状の再発防止に関する評価を行うことで、患者のニーズに合わせた支援計画を検討できるのではないか。
- 一般的に容疑者のような症状が大麻の使用で生じるとは考えにくいですが、緊急措置入院から外来までそれぞれの時点で診断が変わっているように診断の確定が難しいのではないか。

<論点3：退院後のフォローアップについて>

- 薬物依存の患者の、退院後の診療の望ましいあり方について、議論すべきではないか。
- 退院後の対応について本人と相談するとともに、家族にも共有することが重要であり、こうした観点から、対策について議論すべきではないか。
- 精神障害以外の側面として、容疑者が経済的な支援をいつ、どう受けていたのかを明確にすべきではないか。

<論点4：関係機関との情報共有のあり方について>

- 措置解除以降の対応に関して、障害福祉サービスの提供等との関連についても、議論すべきではないか。